

# Clinical Engineering 投稿に関するお知らせ

月刊「Clinical Engineering」では、下記の要領で読者の皆様からのご投稿をお待ちしております。採用分につきましては、小社規定により薄謝を差し上げます。

## 採否の決定

原稿受付日から1カ月後くらいに採否の通知をいたします。採用分につきましては、原稿の加筆・訂正・削除をお願いすることがあります。

## 募集原稿区分・内容

### 【あんな故障・こんなトラブル】

臨床現場で実際に体験した医療機器のトラブルや失敗談、あるいは普段気づきにくい故障や珍しい故障など。

#### 書き方

1. **トラブル** 実際に起こったトラブル、失敗の例
2. **原因** そのトラブルの原因の詳しい説明
3. **処置** そのトラブルにどう対処したか
4. **教訓** そのトラブルを通じて学んだことで  
広くほかの読者に伝えたいこと

以上を項目別に、具体的に述べる。

ページ数：刷り上がり2ページ以内（2600字程度）

### 【わたしのアイデアボックス】

臨床現場の作業において、「作業がこんなに楽になった」、「こんなこともできるようになった」というようなアイデア。

#### 書き方

アイデアに関して、その実現方法や利用方法、それによって何がどのように改善されたのかななどを図解や写真入りで詳しく説明する。また、用意すべき道具や材料なども具体的に記す。

ページ数：刷り上がり4ページ以内（5200字程度）

### 【Q&A】

臨床工学とその周辺の分野に関する質問。

質問点が明確に伝わるように簡潔に記す。質問に対する回答は、各分野の権威による。

### 【CEアラカルト】

上記のほか、日ごろ感じていることや困っていることなど。

ページ数：刷り上がり2～4ページ（2600～5200字程度）

## 執筆要領

### 原稿表紙

1. 原稿区分（例：アイデアボックス）、題名、著者名、勤務先（連絡先）住所・所属・電話番号・ファクシミリ番号、e-mailアドレスを明記する。
2. 共著の場合には、校正などの送付先（窓口となる方）を明示する。

### 本文

1. 原稿は横書き、当用漢字、新かなづかいを用い、句読点は正確に記す。
2. 原則として難解な数式、特殊な用語、外国語はできるだけ避けて記述する。やむを得ず、特殊な学術用語を用いた場合には、必ず用語に肩番号（右肩<sup>1)</sup>など）を付け、脚注を付ける。
3. 外国語は、適訳がないか、一般化していないものを除き、できるだけ日本語表記とする。

4. アラビア数字、国際単位（SI単位）を用いる。

5. 見出しは次のように記す。

- |      |     |     |      |
|------|-----|-----|------|
| 1.   | 2.  | 3.  | 大見出し |
| 1-1  | 1-2 | 1-3 | 中見出し |
| 1)   | 2)  | 3)  | 小見出し |
| 箇条書き |     |     |      |

### 図表

1. 提出いただいた原稿を基に小社で製作するため、できるだけ鮮明なものとする。
2. 図表の1点は原稿用紙1枚分に相当する。

### 図表の説明

1. タイトル以外に、図表の内容が一目でわかるような説明を日本語で付ける（写真は図の扱いとして、順番は図と写真とで分けない）。
2. 別紙に図のタイトルを一括して一覧にする。

### 写真

1. 原則としてモノクロの紙焼きとする。
2. カラー写真をモノクロ印刷する場合には、その旨記すこと。

### 引用文献

1. 図、文章、研究データなど、他書からの引用については、必ず出典を明記のこと（著作権保護のため）。
2. そのほかの文献は、重要なもののみを厳選（原則は全体で10編以内）。
3. 引用箇所（引用順）に肩番号（右肩<sup>1)</sup>）を付け、本文の最後にまとめて示す。
4. 著者名：題名、雑誌・書籍名、巻：ページ、発行年の順に示す（例を参照のこと）。  
（例）1）阿岸鉄三：血液浄化と水、クリニカルエンジニアリング4(1)：2-6, 1993  
2）三条芳光：換気量、麻酔・集中治療とモニタリング、p66-75, 克誠堂, 1989

### 電子媒体

1. 投稿に際しては、原稿のコピーとともに必ずフロッピーディスク、CD-Rなどの電子媒体を同封のこと（Q&Aは除く）。
2. 機種を明記する。
3. 一般のパソコンの場合は、使用しているソフトウェア名を明記し、念のためテキストファイルも添付すること。

### 原稿送付先

原稿は必ず書留郵便にて下記宛にお送りください。

(株)秀潤社  
「Clinical Engineering」編集部宛  
〒101-0054東京都千代田区神田錦町3丁目5-1  
興和一橋ビル別館3階  
Tel. 03-5281-0551(代表), 03-5281-0555(編集部直通)  
Fax. 03-5281-0550

原稿は必ず2部お送りください。また、原稿は返却致しませんので、お手元にコピーをお取り置きください。